

## ポロト自然休養林

胆振東部森林管理署

### 【ポロト自然休養林の特徴】

白老町にあるポロト自然休養林はアイヌ語で「大きな沼」を意味する名を持つポロト湖を取り囲む、面積約396haの森林です。市街地に隣接しながら原始的な部分を持つ丘陵性の森林は、昭和51年に自然休養林となり、地域の方からポロトの森と呼ばれ親しまれています。

また、ポロト湖の南湖岸に、昭和59年にアイヌ民族の歴史、文化の伝承を目的としてアイヌ民族博物館が開館し、さらに、令和2年7月に民族共生象徴空間（ウポポイ：国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園、慰霊施設）がその役割を受け継ぐと、ポロト湖周辺は、アイヌ民族の歴史、文化等の創造・発信の拠点として、さらに民族共生の象徴として重要な役割を担うことになりました。

### 【植生と野生動物】

自然休養林内には、植林されたトドマツ、カラマツ、エゾマツなどのほか、天然のミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、ハリギリ（セン）、クリなどが生育しており、直径1mを超える巨木も点在します。また、ポロト湖の近くには、ミズバショウ群落等、湿原の草本植物も見られます。



ハリギリ（セン）の巨木

野生動物は、エゾシカ、キタキツネ、エゾモモンガ、エゾリスなどの哺乳類や、カッコウ、アカゲラ等の森の鳥、カワセミ等の水鳥約80種の野鳥が生息し、ハクチョウ等の渡り鳥のほか、オジロワシも飛来します。

### 【楽しみ方】

自然休養林内には、ポロト湖の外周に沿った散策路（サイクリングロード）とポロト湖の北側に起伏に富んだ遊歩道があり、お花見、紅葉狩り等四季折々の自然の彩りを楽しむことができます。また、中央部にはキャンプ場・ビジターセンターがあり、バードウォッチング、ピクニック、水遊び、サイクリングの拠点にできます。

**春：**遊歩道沿いではシラオイエンレイソウ等の春の山野草が一斉に開花し、ポロト湖北側の湿原では植物観察用の浮橋からミズバショウの群落を観察できます。



**夏：**バンガロー、炊事場、トイレが完備されているキャンプ場でのおんびりとアウトドアを満喫し、波もなく穏やかなポロト湖では、初心者の方も安全にカヌーを楽しむことができます。



写真：白老観光協会提供

**秋：**もみじ平は一面の紅葉となります。また、望岳台からは紅葉と冠雪の樽前山を望むことができます。



**冬：**1月末にはポロト湖が結氷しワカサギ釣りで賑わいます。インフォメーションセンターでは、釣竿セット、テント等1式を有料でレンタルでき（日曜日のみ）、気軽にワカサギ釣りを楽しむことができます。



写真：白老観光協会提供

### 《ポロトの森キャンプ場》

○営業期間：4月1日～11月30日（冬季休園）

○利用料金：

フリーサイト：大人400円、小人300円

バンガロー：5,000円

※キャンプサイト、バンガローの利用は完全予約制です。

○お問い合わせ：

「ポロトビジターセンター」

電話：0144-85-2005

